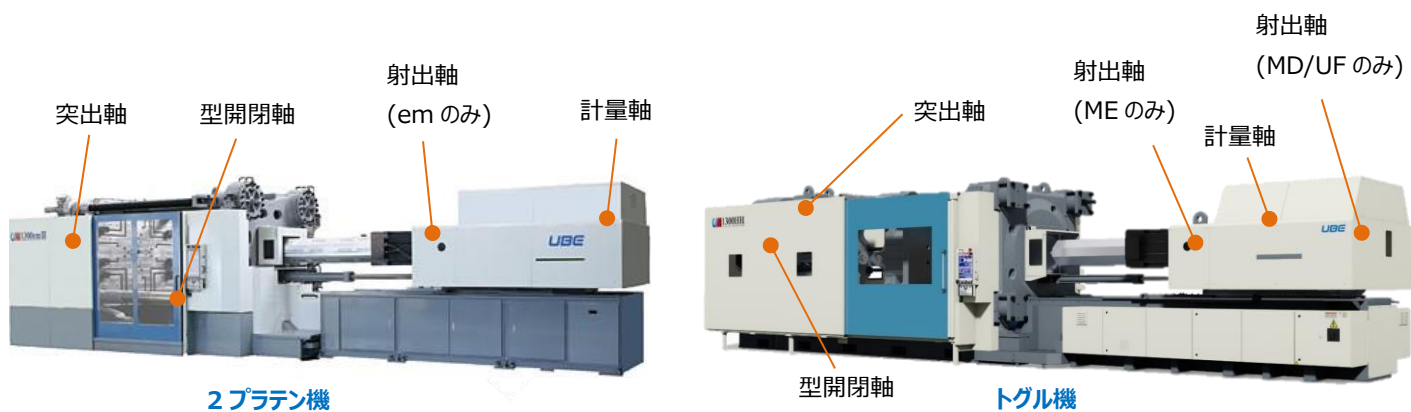


～ 射出成形機保全サービス ～

タイミングベルト予防保全について

お客様に当社の射出成形機を安心・安全にご使用いただけるよう、保全にかかわる各種のサービスメニューを取り揃えております。今回は、“**タイミングベルトに関する予防保全**”をご紹介します。

➤ タイミングベルトが使用されているボールねじ軸



※機種により使用箇所が異なります

➤ タイミングベルトの定期点検・保安全管理の重要性

◎ 故障・損傷の兆候

損傷度合が大きくなってくると振動や騒音となって現れることがありますが、異常はあるが損傷に至っていない或いは初期の軽微な損傷を日常の運転時に察知することは容易なことではありません。




このため、タイミングベルトを定期的に見視点検して、傷などの異常を確認することが重要となります。

◎ 定期点検・保安全管理

目視にて傷などの異常、歯布の摩耗が認められた場合は、ベルト歯の欠落や破断する前に交換してください。タイミングベルトの取付張力が過度に高い場合や低い場合は、タイミングベルトの早期破損の原因になります。定期点検を行うことによって、タイミングベルトに異常が発生していることを発見でき早期に対策を打つことができます。また、この定期点検結果に基づいて必要に応じたタイミングベルトの交換計画を立てることができるので、突発的な生産計画の変更が抑えられるとともに保全費用の大幅な削減や計画的な保全予算の策定をすることができます。

◎ タイミングベルト点検ポイント

タイミングベルト損傷例

状態	外観	
歯部の摩耗		ベルト歯の摩耗（歯幅の約半分）
歯の剪断		歯先にクラックが発生
ベルト側面のムシレ及び摩耗		角が丸くなり、心線がぼつれて出ている
ベルトの部分的切断		ベルトが部分的に切断
ベルト背面のゴムの貼り、軟化、油付着によるベルトの膨潤		ベルト背面に軟化したゴムが付着 粘着性がある(油付着)
ベルト背面の亀裂		ベルト背面に歯と平行に亀裂が入る

▶ タイミングベルト予防保全の必要性

ご愛用いただいております弊社電動射出成形機のボールねじ駆動部の多くには、タイミングベルトを使用しておりますが、本部品は消耗品となっております。タイミングベルトが破損すると、タイミングベルト単品のみではなく他の部位や部材にも深刻な破損や損傷を引き起こし、復旧に時間と費用を要することがあります。この場合、数日間～数ヶ月の機械停止が必要となったり多大な修理費用の発生につながります。

このような不具合の防止には、「**予防保全**」の一つとしてタイミングベルト損傷に至る前兆を早期に発見する「**定期点検・保全管理**」が有効な手段となりますので、定期的な点検と交換の計画を推奨いたします。


多種多様なサービスを取り揃えております。

ご不明な点やご質問などがございましたら、お気軽に事業所

またはサービスセンターへお問い合わせください。

また、当社ホームページの「お問い合わせページ」からも承っております。

お問い合わせ

本内容に関するご質問などについては、下記ホームページ右上の  **お問い合わせ** をクリックしてください。

UBE マシナリー株式会社 ホームページアドレス <http://www.ubemachinery.co.jp/>